

5th Lecture on Molecular Engine

第5回発動分子科学セミナー

東北大学 大学院工学系研究科 応用物理学専攻

鳥谷部 祥一 准教授



“熱で揺らぐ系の観察と制御” ー生体ナノマシンを例にとってー

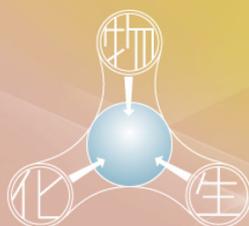
生体分子モーターは、細胞内で働くナノマシンである。ただの高分子にすぎないタンパク質が、巧妙に折りたたみ、自律的に運動するナノマシンを実現している。そして、激しい熱揺らぎの中で、巧みな制御をして効率よく働いている。その動作原理を明らかにするため、我々は、1分子の観察・制御技術を駆使して、分子モーターのエンジェティクスを調べている。本セミナーでは、まず、熱揺らぎの物理について少しお話した後で、回転分子モーターF1-ATPaseの高効率のエネルギー変換機構についてお話ししたい。

日時：2018年10月5日（金）14：30～15：30

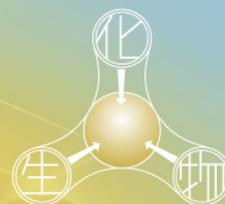
場所：B2棟大会議室（426号室）

連絡先：金原 数（内線 5781）

平成30年度発足 新学術領域



発動分子科学



<http://www.molecular-engine.bio.titech.ac.jp>